

メディアワークス文庫 『神様の御用人』シリーズ

累計発行部数

100万部 突破！

株式会社KADOKAWA(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松原真樹)アスキー・メディアワークスでは、大人のためのエンターテインメント・ノベル「メディアワークス文庫」を刊行しています。このたび、メディアワークス文庫『神様の御用人』シリーズ(浅葉なつ 著)が、8月25日(木)発売の第6巻をもって累計発行部数が100万部を突破、110万部に達しますので、お知らせいたします。

『神様の御用人』は、神様の御用を聞いてまわる「御用人」となったフリーターの青年・萩原良彦(はぎわら・よしひこ)と狐の姿をした方位神・黄金(こがね)が、人間以上に人間味あふれる八百万の神様たちの「御用」に振りまわされつつも、その願いを叶えていく物語です。古事記や民話などに登場する神様の願いと人間との間に生まれる絆を、笑いと涙を交えて温かく描いています。

2013年12月にシリーズ第1巻が発売、翌2014年5月に第2巻、同年11月に第3巻、2015年6月に第4巻、同年12月に第5巻が発売となりました。8月25日(木)発売の最新第6巻では、東京と九州を舞台に、それぞれの地に縁のある神様の願いを叶えるストーリーが展開していきます。また、イラストレーター・くろのくろ氏による、四季折々の情緒溢れるイラストも本シリーズの魅力のひとつとなっております。

■メディアワークス文庫『神様の御用人』最新第6巻について

【タイトル】神様の御用人 6

【著】浅葉なつ 【イラスト】くろのくろ

【レーベル】メディアワークス文庫

【判型・ページ数】文庫判・354ページ

【定価】本体610円(税別) 【ISBN】978-4-04-892334-7

【書店発売日】2016年8月25日(木)

【発行】株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス

【内容】

何やら思惑のありそうな孝太郎に連れられて、上京した良彦と黄金。初めての東京に思わず浮かれる彼らの前に現れたのは、大手町の有名すぎるあの怨霊(ひと)だった！ そこから事態は思わぬ方へと転がり、図らずも巻き添えを食らったとある人物の正体とは……？ そして、黄金は結局ファミレス推し!? 一方、九州へと呼ばれてみれば、飛鳥時代と現代を結ぶ三女神の過去を紐解くことに。人知れず残された一人の巫女の想いが、千年以上の時を経て鮮やかに浮かび上がる！



『神様の御用人』最新第6巻表紙

■メディアワークス文庫『神様の御用人』シリーズ既刊情報

- ◆1～5巻好評発売中
- ◆定価：本体550円～590円(税別)
- ◆発行：株式会社KADOKAWA
- ◆プロデュース：アスキー・メディアワークス
- 『神様の御用人』特設サイト：<http://mwbunko.com/special/sp06.html>



『神様の御用人』シリーズ表紙

■著者プロフィール

浅葉なつ(あさば・なつ)

四国生まれ、関西在住。第17回電撃小説大賞で《メディアワークス文庫賞》を受賞し、2011年2月受賞作『空をサカナが泳ぐ頃』でデビュー。著書に、『山がわたしを呼んでいる！』『サクラの音がきこえる』『香彩七色～香りの秘密に耳を澄まして～』(以上メディアワークス文庫)がある。趣味は神社巡り。

■「メディアワークス文庫」とは

2009年12月創刊、アスキー・メディアワークスが贈るエンターテインメント・ノベル。恋愛、ミステリー、歴史など、さまざまなジャンルの小説を刊行しています。メディアワークス文庫からは、『ビブリア古書堂の事件手帖』(著／三上 延、シリーズ累計発行600万部)、『神様の御用人』(著／浅葉なつ、同110万部)、『0能者ミナト』(著／葉山 透、同57万部)、『探偵・日暮旅人』シリーズ(著／山口幸三郎、同50万部)、『ちょっと今から仕事やめてくる』(著／北川恵海、同50万部)、『オーダーは探偵に』シリーズ(著／近江泉美、同40万部)、『お待ちしてます 下町和菓子 栗丸堂』(著／似鳥航一、同37万部)、『絶対城先輩の妖怪学講座』(著／峰守ひろかず、同25万部)などのヒット作品が生まれています。コミック、実写ドラマ化などメディアミックス展開も盛んで、幅広い層の方々に楽しんでいただいております。毎月25日発売。

- 「メディアワークス文庫」公式サイト：<http://mwbunko.com/>
- 「メディアワークス文庫」公式Twitter：<https://twitter.com/mwbunko>

<ご参考>

■アスキー・メディアワークスとは

アスキー・メディアワークスは、小説、コミック、ゲーム、ホビー、テクノロジーなど、エンターテインメントやPC/IT分野を中心とした事業を展開。出版を基盤に、ウェブ・モバイル、電子書籍、アプリ、映像、音楽、グッズ、ゲーム、イベントなど、メディアを超えてコンテンツをプロデュースしています。

- KADOKAWAオフィシャルサイト：<http://www.kadokawa.co.jp/>
- アスキー・メディアワークス公式サイト：<http://asciimw.jp/>

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】
株式会社KADOKAWA
アスキー・メディアワークス
<http://asciimw.jp/>